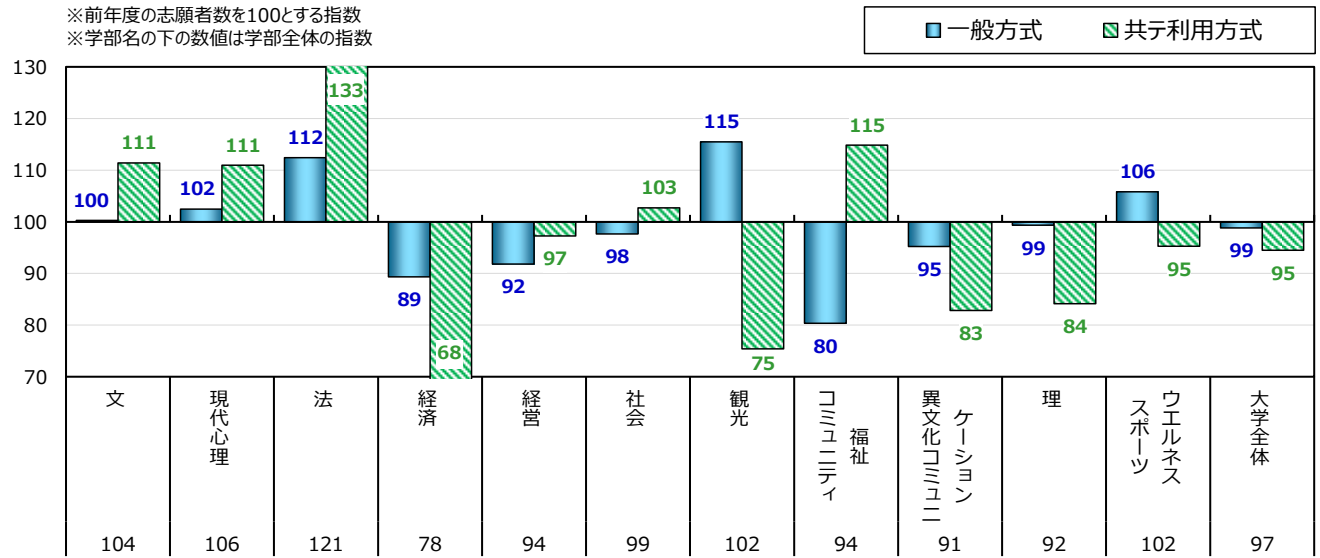


**立教大：大学全体でやや減少、特に一般が3年連続減少 一般：-418人 共テ：-1,295人**



**主な入試変更点**

選抜方法：文(文/ドイツ文学)…<共テ・4科目型>廃止  
 法(国政ビジネス法/グローバル)…英語外部試験のスコア変更  
 募集人員：コミュニティ福祉(コミュニティ政策)<共テ>30人→26人  
 異文化コミュニケーション(異文化コミュニケーション)<一般>75人→95人  
 <共テ>8人→13人  
 スポーツウエルネス(スポーツウエルネス)<一般>90人→108人  
 入試科目：理(物理)<共テ・4科目型>…数2+理+外 ※理：物 or 化 or 生 or 地学  
 →数2+理+外 ※理：物

**COMMENT ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数**

大学全体では、1,713人(97)の3年連続やや減少。方式別では、一般方式は418人(99)の微減だが3年連続減少。共通テスト利用方式は1,295人(95)のやや減少で3年ぶりに減少。一般方式は、文を除き大学独自の英語の出題がなく、民間の英語4技能資格・検定試験または共通テスト英語の受験が必須であることから、私立大専願層を中心にこれを負担増と感じる層が敬遠した影響があった。

学部別では、法(121)は大幅増加、現代社会(106)、文(104)はいずれもやや増加。一方で、経済(78)は大幅減少、異文化コミュニケーション(91)、理(92)はいずれも減少。

**<一般方式>**

- 文(100)**は、2年連続減少の反動はなく前年度並。学科・専修別では、(キリスト教)(223)、(史)(124)はいずれも前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(文/フランス文学)(87)は前年度大幅増加の反動で減少、(文/日本文学)(90)、(文/英米文学)(91)はいずれも減少。
- 現代心理(102)**は、2年連続減少の反動は小さく微増に留まり前年度並。学科別では、(映像身体)(108)は2年連続減少の反動で増加。一方で、(心理)(97)はやや減少で5年連続減少。
- 法(112)**は、前年度大幅減少の反動で増加。学科別では3学科とも増加で、(政治)(115)は2年連続減少の反動で大幅増加、(法)(114)も2年連続減少の反動で増加、(国際ビジネス法)(104)は前年度激減の反動は小さくやや増加。
- 経済(89)**は、減少。学科別では、3学科のいずれも減少で、(経済)(84)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。(経済政策)(99)は志願者数9人減少、(会計ファイナンス)(100)は志願者数3人減少でいずれも前年度並。
- 経営(92)**は、6年連続減少。学科別では、(国際経営)(109)は前年度大幅減少の反動で増加。一方で、(経営)(84)は大幅減少で6年連続減少、志願者数は1,500人を下回った。
- 社会(98)**は、微減だが3年連続減少。学科別では、(社会)(105)は2年連続減少の反動は小さくやや増加。一方で、(メディア社会)(92)、(現代文化)(93)はいずれも減少で3年連続減少。
- 観光(115)**は、コロナ禍の影響も緩和し、大幅増加で6年ぶりに増加。学科別では、2学科いずれも増加で、(交流文化)(132)は大幅増加で、前年度の反動による増減が継続、(観光)(105)はやや増加で2年連続増加。
- コミュニティ福祉(80)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、(コミュニティ政策)(78)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(福祉)(85)は2年連続大幅減少。
- 異文化コミュニケーション(95)**は、募集人員が75人→95人と20人(27%)増加したが、やや減少で3年連続減少。志願倍率も18.7倍→14.1倍にダウン。
- 理(99)**は、微減だが2年連続減少。学科別では、4学科中で増加は(数)(130)の1学科のみ。他の3学科は減少で、(物理)(88)は前年度増加の反動で減少、(生命理)(95)は2年連続やや減少、(化)(99)は微減だが2年連続減少。
- 新設2年目のスポーツウエルネス(106)**は、募集人員が90人→108人と18人(20%)増加し、志願者数はやや増加だが、志願倍率は12.1倍→10.7倍とダウン。

**<共通テスト利用方式>**

- 文(111)**は、増加。学科・専修別では、(キリスト教)(812)は8倍以上の激増で志願者数は450人を上回った。(文/フランス文学)(229)は約2.3倍の激増で3年連続増加、(史)(146)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(文/文芸・思想)(103)は前年度大



幅減少の反動は小さくやや増加。一方で、(文/ドイツ文学)(36)は<共テ・4科目型>の廃止もあり激減、(文/日本文学)(80)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(文/英米文学)(82)は大幅減少で3年連続減少、(教育)(93)はやや減少。

- 現代心理(111)**は、2年連続減少の反動で増加。学科別では、(映像身体)(124)は3年連続減少の反動で大幅増加。一方で、(心理)(98)は微減だが3年連続減少。
- 法(133)**は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。学科別では3学科とも増加で、(国際ビジネス法)(185)は前年度激減の反動で激増、2017年度以降は反動による大幅増減が継続。(政治)(152)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、法(114)は前年度大幅減少の反動で増加。
- 経済(68)**は、3年連続増加の反動で大幅減少。学科別では、(経済政策)(115)は大幅増加、(会計ファイナンス)(114)は2年連続増加。一方で、(経済)(46)は前年度ほぼ倍増の反動でほぼ半減。
- 経営(97)**は、やや減少で4年連続減少。学科別では、(国際経営)(143)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、2019年度以降は反動による増減が継続。一方で、(経営)(79)は大幅減少で6年連続減少。
- 社会(103)**は、やや増加で4年連続増加。学科別では、(社会)(117)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(現代文化)(112)は2年連続増加で、志願者数は1,000人を上回った。一方で、(メディア社会)(81)は2年連続増加の反動で大幅減少。
- 観光(75)**は、2年連続増加の反動で大幅減少。学科別では、(交流文化)(125)は前年度半減の反動で大幅増加、2018年度以降は反動による大幅な増減が継続。一方で、(観光)(55)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、2020年度以降は反動による大幅な増減が継続。
- コミュニティ福祉(115)**は、大幅増加。学科別では、(福祉)(156)は2年連続減少の反動で大幅増加。一方で、(コミュニティ政策)(88)は募集人員が30人→26人と4人(13%)減少したこと前年度大幅増加の反動で減少したが、志願倍率は24.1倍→24.5倍と大きな変化はなかった。
- 異文化コミュニケーション(83)**は、募集人員が8人→13人と5人(63%)へ大幅増加したが、志願者数が3年連続増加の反動で大幅減少。志願倍率も101.9倍→51.9倍に大幅ダウン。
- 理(84)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、(数)(136)は大幅増加、(化)(105)は3年連続減少の反動は小さくやや増加。一方で、(生命理)(58)は前年度激増の反動で大幅減少、(物理)(72)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 新設2年目のスポーツウエルネス(95)**は、やや減少で、志願倍率は24.0倍→22.9倍にダウン。